



佛國法參照  
第貳号

田  
殿  
隈  
大



114  
A2693  
43



凡ノ行政ノ行為中ニハ人民ノ保護ノ為メ豫メ設  
 手続ノ方式又ハ人民ノ間ニ締結セル契約ニ因リ制  
 限ノ存スルモノアリ此  
 等ノ制限ノナキ場合ニ於テハ行政ノ行為ハ即  
 今純然タル擅断權ナリ故ニ之カ為メ利益ヲ害  
 セラレタル人アルモ裁判上ノ訴訟ヲ起ス  
 許サズ唯テ被害者ハ其損害ヲ致セル行政行為  
 カ下等官吏ニ出タル場合ニ於テ上級官吏ニ向  
 ヒテ其行為ノ改更ヲ請求スルヲ得キ  
 然ルニ行政官ト雖モ常ニ此ノ如キ自由ノ作用  
 ヲ為ス  
 方式ヲ守ルヘキ  
 又ハ法文若ハ契約書ニ定メ  
 一

テニ權利ヲ尊重スルハ法律ノ要望スル所  
トス是ヲ以テ若シ行政官カ方式、法律、契約ニ違  
背スルハ有ルニ於テハ則テ被害者ヲシテ之ヲ  
訴フルルヲ得セシム是レ行政訴訟ノ由テ起ル  
所トス  
法律ニ於テ或場合ニハ行政官必ス縣郡市會ノ  
意見ヲ諮詢シ及ヒ方式ヲ遵行スルヲ要シ以  
テ各人民ノ利益ヲ保護セリ是蓋シ或種ノ場合  
ニ際シテハ行政官全權ヲ握有スルニ由リ立法  
者ハ必ス之ヲシテ縣若クハ郡若クハ市ノ議會  
ノ意見ヲ諮詢セシメテ其擅行ヲ防遏シ各人民  
ノ利益ヲ保護セシムヲ希望シタルヤ疑ヒ無キ  
ナリ是故ニ其方式ノ履行ヲ闕ケハ必ス越權  
ノ

罪責ヲ求メシテ既ニ一タヒ越權ニ涉レハ  
則テ其事件ハ本ト純然タル行政上ノ事件ニ係  
ルニ亦此ニ至リテ行政訴訟ノ事件ニ歸ス之ヲ  
例スルニ若シ府縣知事カ法律ノ規定スル所  
ルニ拘ハラス府縣參事會若クハ府縣會若クハ  
郡會若クハ市會ノ意見ヲ諮詢スルヲ怠ル有  
レハ則テ其發布スル所ノ令違ハ即テ違規ノ令  
違タルニ由リ被害者ハ為メニ行政訴訟ヲ起シ  
テ以テ之ヲ攻撃スルヲ得可キ如キ是ナリ  
凡ソ行政訴訟ヲ起シテ以テ行政官ノ行為ヲ攻  
撃スルニハ其行為ノ唯一人ノ利益ヲ害スル  
ノニテハ能ハサルナリ今夫レ一私人ノ官林  
松下或ハ鑛山ノ借込ヲ請願シ或ハ一道ノ河川

ニ工場ヲ開設セんと欲スルヤ之カ准許ヲ得ル  
ハ其人ニ在リテ必ス一大利益ノ繫ル有ル可シ  
然レ氏若シ行政官ニ於テ此請願ヲ拒却スルニ  
當リテハ請願者ハ其拒却ニ對シテ告訴ヲ構造  
スルヲ得可キカ抑々請願者ノ利益ハ此拒却  
ノ為メニ著大ナル妨害ヲ被フル可シト雖モ其  
權利ニ至リテハ毫モ妨害ヲ受ルヲ問ハス皆此ノ  
明白ナリトス何トナレハ何人ヲ問ハス皆此ノ  
如キノ請願ヲ為ス推能ヲ有スル者トスルモ其  
准許ヲ得ルノ權利ヲ有スルノ無カル可キヲ以  
テナリ又他ノ一方ヨリ論スルモ若シ裁判權ニ  
於テ行政官ノ拒却ヲ壓服シ得可キノ權利ヲ有  
スル者ト為セハ則々隨テ亦其申請ニ對シテ許

可ヲ付與スルノ權カヲ有スルナル可シ然レ氏  
裁判權ハ此ノ如キ處置ノ當否ヲ判定スルニ必  
要ナル證據ヲ有スルカ凡ソ一定ノ法式ニ依  
シテ判決ヲ下タスノ職掌ニ任スル裁判官ハ行  
政官ト異ニシテ此ノ如キ行為ノ果シテ不使ヲ  
生スルヲナキヤ否ヤヲ了知スルノ手段ヲ有セ  
サルナリ今詞訟裁判所ニ於テ一私人ノ請求ス  
ル一事件ヲ審査スルニ當リ縱令ヒ其事件ニ關  
シテハ毫モ危險ノ存在スルヲ發見セサルモ  
安ソ是レ行政ノ全局ニ向テモ亦危險ノ存在ス  
ル無キヲ保證スルヲ得ンヤ凡ソ行政官ハ  
其本分ト其職掌トヲ問ハス常ニ其心目ヲ行政  
ノ全局ニ注クトモ裁判官ノ如キハ唯々其管

自カラ純然タル行政上ノ命令ニ屬ス何トナレ  
ハ則テ此布連ノ施行ハ衛生警察ニ關スル力  
ノ施行ト相ヒ密着拒却スルハ即テ是レ工業ノ  
氏其開設ノ許可ヲ妨害セラルハ即テ是レ工業ノ  
自由ハ重大ナル妨害ヲ被ラハ即テ是レ工業ノ  
法者ハ為メニ佛國ノ例ヲ設ケ其請願者ニ故障ノ申  
立テ許セリ佛國ノ例ヲ設ケ其請願者ニ故障ノ申  
法律ニ於テ若シ一箇七條ヲ建テ公衆ノ健康  
ヲ傷害ス可シト認力テ行政官ニ付與シテ之  
毀撤ヲ命スル條然レ其官ニ付與シテ之  
ヲ參觀スハ出テ隨テ行政官ニ付與シテ之  
ノ原因ヲ出テ隨テ行政官ニ付與シテ之  
ク被害者ヲ出テ隨テ行政官ニ付與シテ之  
鑛山行政上ノ許可スル命令ヲ如キモ亦是レ純然  
タル行政上ノ許可スル命令ヲ如キモ亦是レ純然

轄權内ニ於テ受理スル所ノ事件ニ關シテハ  
其利害ヲ審ニスルニ過キス是故ニ決シテ裁判  
官ノ審決ヲ以テ行政官ノ作用ニ換易スル  
得可カラサルナリ行政官ノ行為カ人民ノ既得權ヲ妨  
害スル有テ行政官ノ行為カ人民ノ既得權ヲ妨  
政詞訟ヲ起シ以テ行政官ノ行為カ人民ノ既得權ヲ妨  
得セシム夫レ其種ノ讓與ニ關スルハ布告ハ純然  
夕ル行政上ノ行為ニ屬スル者タルカ故ニ之  
對シテ訟取リ起スルヲ得然リトモ既ニ讓與セ  
ルモ訟取リ起スルヲ得然リトモ既ニ讓與セ  
此法ヲ認許セラル場合外ニ係レハ則テ行政  
詞訟上ノ告認許セラル場合外ニ係レハ則テ行政  
ヲ得可シ又凡ソ人ノ健康ヲ傷害ス可キ各種ノ行政  
工場ノ開設ヲ許可スル布達ノ如キモ亦其性質

定ニ関シテハ唯法律上ニ豫定セル或種ノ場合  
ニ於テ之ヲ行フヲ得可シ例之ハ許可ヲ得  
タル者ニ於テハ法律ノ開墾ニ関シテ賦課セル費  
用ヲ納致セサル場合ノ如キ是ナリ若其讓與ノ  
取戻シテ法律上ニ豫定セル場合ノ外ニ係  
ラレバ則テ受讓者ハ行政詞訟ヲ起シ其取戻  
命令ノ取消ヲ請求スルノ行政詞訟ヲ起シ其取  
政府ノ恩給年限満期以前ニ死没セル官吏ノ  
寡婦ニ對シテ救恤金ヲ給與スル有レハ是レ  
政府ノ一種ノ恩典ヲ施ス所ニシテ本末必モ  
其給與ヲ要スルニ非ス故ニ縱令ニ政府カ此恩  
典ヲ賜與スルヲ無キモ其寡婦ハ決シテ行政詞  
訟ヲ起シ以テ其給與ヲ要請スルヲ得然レ

氏今茲ニ一人ノ官吏カ三十年ノ服職年限ヲ全  
滿セシモ偶死シテ管轄大臣カ其死者ノ寡婦ニ  
對シテ法律ニ規定セル恩給額ヨリモ減少ナル  
年俸ヲ給與スル有リト假想センニ以テ年俸算定  
於テハ其寡婦ハ行政詞訟ヲ起シ以テ年俸算定  
ノ不當ヲ責難スルヲ得可キ者トス  
純然タル施政上ノ行為ニシテ容易ニ行政詞訟  
事件ト判別スル一得ハキ者ハ即チ讓與若ク  
ハ恩與ニ屬スル一切ノ處置是ナリ只其注ニ行  
政詞訟事件ト混同シ易キ者ハ即チ警察ニ関ス  
ル處置ノ如キ是ナリ抑大體ノ原則ヲ以テ之ヲ  
管轄官廳ノ特別ノ規定ヨリ抑生スル例外ヲ除キ凡  
九







人

處分トス前ニ者ト異ナル所ハ一方ニ在テ規則  
 的性質ナク特定ノ場合ニ對スル處分ニ命  
 又他ノ性質ナク行政訴訟ハ純然ノ公權ニ基ク命令  
 タリ性質上行政訴訟ハ蓋シ此種ノ處分ニ  
 對スル爭訟ナリ此處分ニ對シテ人カ法律規則  
 乙然レ氏尚ホ此處分ニテ利益ヲ侵害シタルコ  
 又ハ契約ニ依テ個人ノ利益ヲ侵害スルハ行政裁  
 トハ要ス單ニ一ハ利益ヲ侵害スルハ行政裁  
 ハ行政訴訟ニ爲ル能ハス此利益ヲ侵害スルハ行政裁  
 所ニ於テ願フ爲ル能ハス此利益ヲ侵害スルハ行政裁  
 村長ノ知事大臣大統領是ナリ之ヲ爲ス市町  
 第三種類ノ訴訟ハ行政權ノ處分越權ニ出ル片

人

行政裁判トス明文存スルト否トニ論ナク其性質  
 二法律ノ行政訴訟ニ於テモ稱スベキ所シテ左ノ最モ行政訴訟  
 訟本領トモ稱スベキ所シテ左ノ最モ行政訴訟  
 ハ片ハ皆此種類ニ屬ス  
 甲純然タル行政處分ニ因リテ生シタル爭訟  
 タル第一ハ立法權ノ行使ヲ受ケテ一般規則  
 三トス處分ヲ爲ス是等ハ行政訴訟ノ原タル規則  
 的處分ヲ爲ス是等ハ行政訴訟ノ原タル規則  
 制定スルカ如ク是等ハ行政訴訟ノ原タル規則  
 ス蓋シ行政ヨリ寧カ立法行政委任其受ケテ得  
 ナリ第一行政ヨリ寧カ立法行政委任其受ケテ得  
 爲シタル行政爲ニテ然レ凡ソ行政權ノ行使ハ之ヲ大別シテ



ハ契約ニ發スルモタリ故ニ法律規則又ハ契  
約ノ理由トシテ請求セハ然レテハ此  
其ノ他ノ場合ニ在テハ歎願ノ行  
テガ要スル一及ヒリエヨアル  
之ヲ要スル一及ヒリエヨアル  
行ヲ為シタル佛國ニ於ケル歎  
ク又其上ニ班行行政官廳ニ  
大紋領ニ歎願スルヲ得ヘシ  
ハテ佛國トスニ歎願スルヲ得  
テ佛國トスニ歎願スルヲ得  
ル者アルハ參事院ヲ諮詢スル  
ハ契約ニ發スルモタリ故ニ法律規則又ハ契

ス行政權ノ行為ヲ為スニ當リ一  
行政權ノ行為ヲ為スニ當リ一  
ヒ其利害得失ヲ判スル是レ即チ歎願  
裁定タリ唯一個ノ請求ニシテ權利ヲ根  
ハ然タル訴訟タルヘス利益ノ權利ニ基  
歎願トスル權利ニ基クテ何レニ依テ  
利益ニ基クテ何レニ依テ行政權  
ヘキヤ請求ヲ生セシムルニ至リタル  
行ヲ為シテ行政權カ有スル法律上ノ  
リテ為サレタルモ非サレカ長單ニ利  
益ニ関スル請求モ若シ之ニカ既得權  
義務ヲ破リテタルモナレニカ既得權  
求メテ破リテタルモナレニカ既得權

